UN GLOBAL COMPACT
Network Japan

国連グローバル・コンパクト ネットワーク・ジャパンにおける学びあい

ヒューマンライツ・デューデリジェンス（HRDD）分科会

UN GLOBAL COMPACT
Network Japan

【今日の内容】

1．グローバル・コンパクト概要

2．GCNJにおける分科会活動の概要

3．HRDD分科会の活動紹介

UN GLOBAL COMPACT
Network Japan

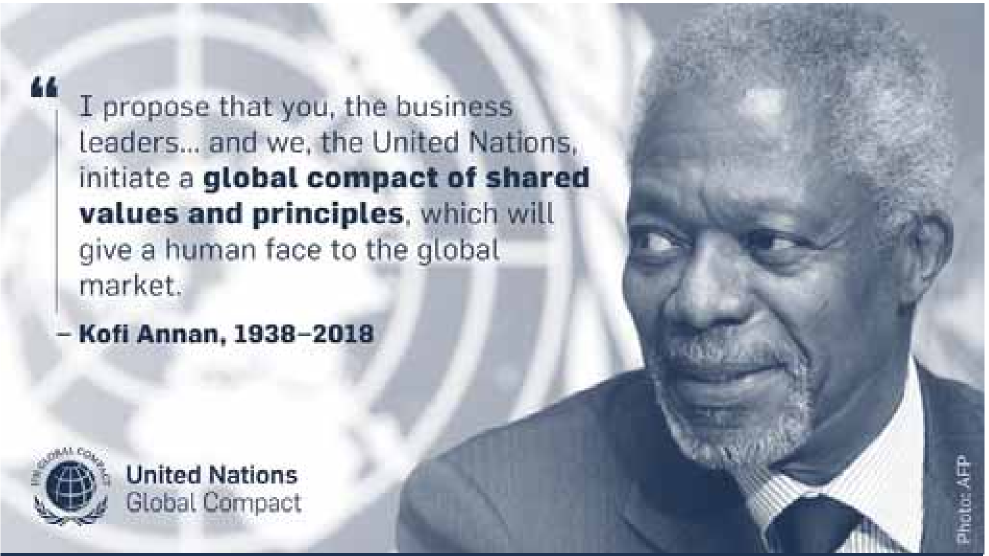
【今日の内容】

1．グローバル・コンパクト概要

2．GCNJにおける分科会活動の概要

3．HRDD分科会の活動紹介

国連グローバル・コンパクト（UNGC）創立



『世界共通の理念と市場の力を結びつける道を探りましょう。
民間企業のもつ創造力を結集し、弱い立場にある人々の願いや未来世代の必要に応えていこうではありませんか。』

1999年　コフィ・アナン元国連事務総長がダボス会議で提唱
2000年　NY国連本部で正式に発足
2021年　約17,500の企業・団体が署名

UNGCのチェアマンは、コフィ･アナン氏以降も歴代の国連事務総長が務める

国連グローバル･コンパクト（UNGC）とは

国連と民間（企業･団体）が手を結び、
健全なグローバル社会を築くためのイニシアティブ

各企業･団体が、責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって「社会の良き一員」として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組み。

人権　労働　環境　腐敗防止

GC4分野（人権･労働･環境･腐敗防止）の遵守を推進

UNGCの4分野10原則

人権

企業は、

1．国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
2．自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである

労働

企業は、

3．結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持し、
4．あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
5．児童労働の実効的な廃止を支持し、
6．雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである

環境

企業は、

7．環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
8．環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
9．環境にやさしい技術の開発と普及を奨励すべきである

腐敗防止

企業は、

10．強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである

会員（署名企業・団体）は

４分野（人権・労働・環境・腐敗防止）の１０原則

に署名し、世界へ遵守を宣言する

※UNGCへ署名する会員は10原則に賛同し、企業・団体のトップ自らのコミットメントのもと、その実現に向けて努力を継続することが求められる。

グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）

グローバル･コンパクト･ネットワーク･ジャパン（GCNJ）

国連グローバル･コンパクト（UNGC）のローカルネットワーク。

UNGCの理念･ミッションを日本国内で遂行するための組織として活動。

【会員数】 **464** （*2022年2月現在）

［所在地］国連大学本部ビル

沿革

2001年　3月　キッコーマンが国連グローバル･コンパクトの日本署名第1号

2003年12月　国連広報センターがジャパン･ネットワーク（任意団体）を設立

2008年　4月　参加企業主体の団体として国連広報センターから独立

2011年10月　一般社団法人化

2015年　7月　グローバル･コンパクト･ネットワーク･ジャパンへ名称変更

2022年　2月　**464**会員が活動中

UN GLOBAL COMPACT
Network Japan

【今日の内容】

1．グローバル・コンパクト概要

2．GCNJにおける分科会活動の概要

3．HRDD分科会の活動紹介

GCNJの主な活動：分科会 ①

企業の実務者が他社の実践や学識経験者から学び、サステナビリティの考え方や取り組みについて情報の交換・共有ができる活動の場。
原則として毎月1回または2か月に1回開催。

＊各分科会の活動内容紹介ページ： http://www.ungcjn.org/activities/session/index.html

グループディスカッション

フォーラムで活動報告

事例・情報共有

有識者講演

	分科会名	参加企業（社・団体）	参加者（人）
1	サプライチェーン	127	193
2	環境経営	174	276
3	GCの社内浸透研究	76	105
4	関西	93	144
5	**ヒューマンライツデューデリジェンス**	**124**	**183**
6	人権教育	100	149
7	腐敗防止	74	104
8	防災･減災（DRR)	93	145
9	SDGs	178	269
10	ESG	186	314
11	CSV	108	152
12	WEPs	119	185
13	レポーティング研究	165	248
14	サーキュラーエコノミー研究	117	184

GCNJの活動紹介：分科会 ②

お役立ちシリーズの発刊

第１弾	サプライチェーン分科会：「サプライチェーンにおける望ましいCSR活動のあり方」（日本語版｜英語版）
第２弾	UNGC発表“Post-2015 Business Engagement Architecture”邦訳 「『ポスト2015における企業エンゲージメントの基本構図』を構築する」
第３弾	レポーティング研究分科会：「Advanced COP解説書 －2013年3月改訂版 Advanced COPの解釈と事例－」
第４弾	UNGC発表“Guide to Corporate Sustainability：Shaping a Sustainable Future”邦訳 「企業の持続可能性に関するガイド －持続可能な未来を創造するために－」
第５弾	SDG Compass邦訳「SDGsの企業行動指針－SDGsを企業はどう活用するか」
第６弾	サプライチェーン研究分科会：「CSR調達入門書－サプライチェーンへのCSR浸透－」（日本語版｜英語版）
第７弾	ヒューマンライツデューデリジェンス分科会：「ビジネスと人権－日本企業の挑戦－」
第８弾	SDG Industry Matrix（日本語版）
第９弾	「CSR調達セルフ・アセスメント・ツール・セット」（日本語版｜英語版｜中国語版）
第10弾	「CSR調達研修用ツール・セット（講義＆ゲーム」（日本語版｜英語版）
第11弾	「CSR調達セルフ・アセスメント・ツール・セット（回答の手引書）」

＊「お役立ちシリーズ」紹介ページ：https://www.ungcjn.org/activities/help/index.html

UN GLOBAL COMPACT
Network Japan

【今日の内容】

1．グローバル・コンパクト概要

2．GCNJにおける分科会活動の概要

3．HRDD分科会の活動紹介

ヒューマンライツ・デューデリジェンス（HRDD）分科会【概要】

体制 2022年2月現在	メンバー：133団体 ／ 198名 共同幹事：6社
テーマ	「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づいた人権デューデリジェンス （方針コミット、影響評価、防止・軽減・是正・救済、情報開示）の推進
活動スタイル	有識者講演やワークショップ、個別作業、グループ活動などによる ラーニング＆アウトプット型　※運営分担も含め全員参加型 会合は年５回程度
参加対象 (募集要項)	自社の人権の取り組みを進めたいと思っている企業や団体 個別作業、グループ活動、運営含め、積極的に参加・協力

ヒューマンライツ・デューデリジェンス（HRDD）分科会【活動内容】

活動方針（ミッション）：　HRDDプラクティスの共有と実践

有識者講演、ワークショップ、自社の取り組み進捗評価などを通して、参加メンバー各社のHRDD取り組み推進の一助となる活動を行う。

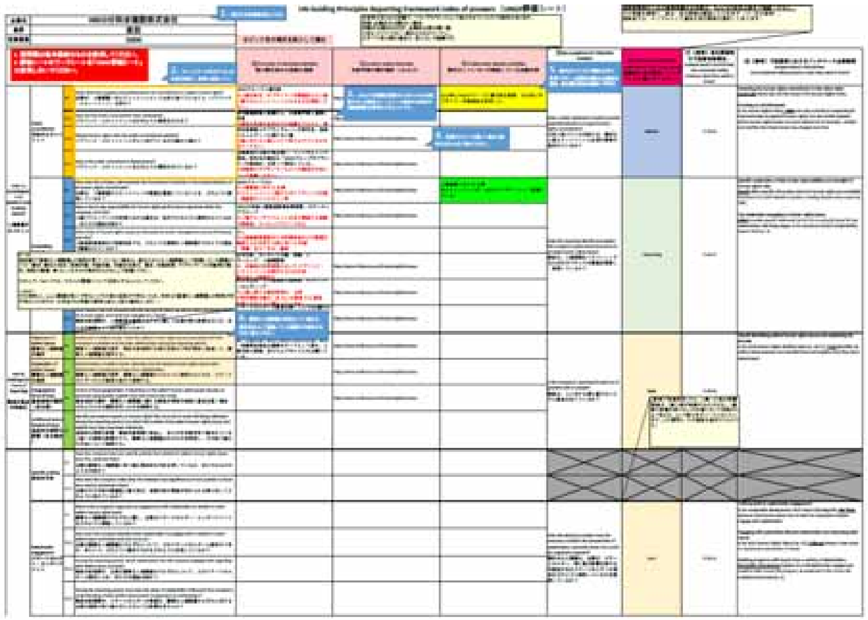
活動項目	ｱｳﾄﾌﾟｯﾄｲﾒｰｼﾞ（求める成果）
■ **自社の取り組み評価** 国連指導原則(UNGP)報告フレームワークに基づく自己評価シート（当分科会作成）により、自社取り組み進捗を評価し、分科会内で集計・分析・共有する。	➢ UNGPに関しグローバルで求められるレベル感と自社の改善ポイントを理解する ➢ 集計レポート(概要のみ)を分科会として公表
■ **HRDDワークショップ** 人権デューディリジェンスの枠組みと内容を理解する。特に人権影響評価について、モデルケースを用いた演習形式で学ぶ。	➢ UNGPの理解促進 ➢ 各社における人権影響評価の実践（導入やブラッシュアップ）
■ **好事例ベンチマークとプラクティス共有** 先進的な取り組みを行う企業の事例を学んだり（興味あるテーマごとのグループ活動とする）、メンバー間での実務レベルも含んだ情報交換を行う。	➢ 自社活動への応用 ➢ 意見交換、情報共有による新たな気づきなどのシナジー効果
■ **動向キャッチアップ** ビジネスと人権フォーラムでのホットトピックや人権に関する法規制・評価の動向などをつかむ（有識者レクチャーなど）	➢ 早期動向把握による対応準備 ➢ 関係団体、有識者等とのコミュニケーション、ダイアログ

HRDD分科会活動　①UNGP自己評価シート

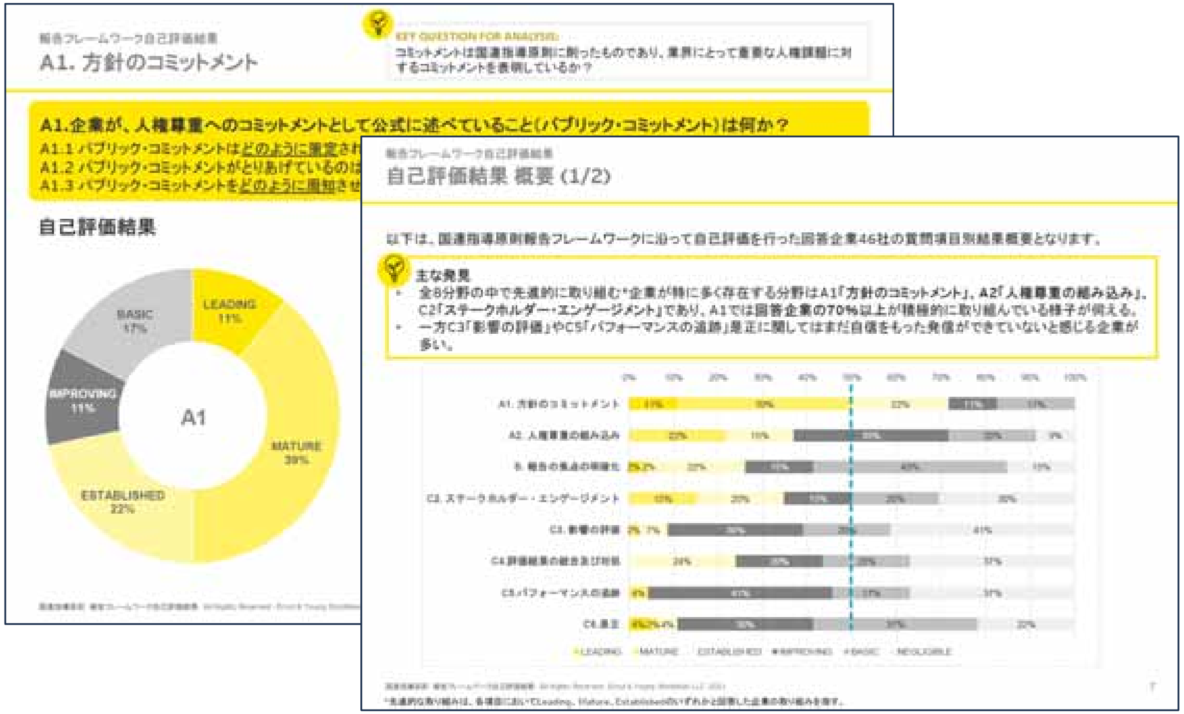
活動内容：

国連指導原則(UNGP)報告フレームワークに基づく自己評価シート（当分科会作成）により、
自社取り組み進捗を評価し、分科会内で集計・分析・共有する。

評価シート（EXCEL形式）



分科会内での集計・分析

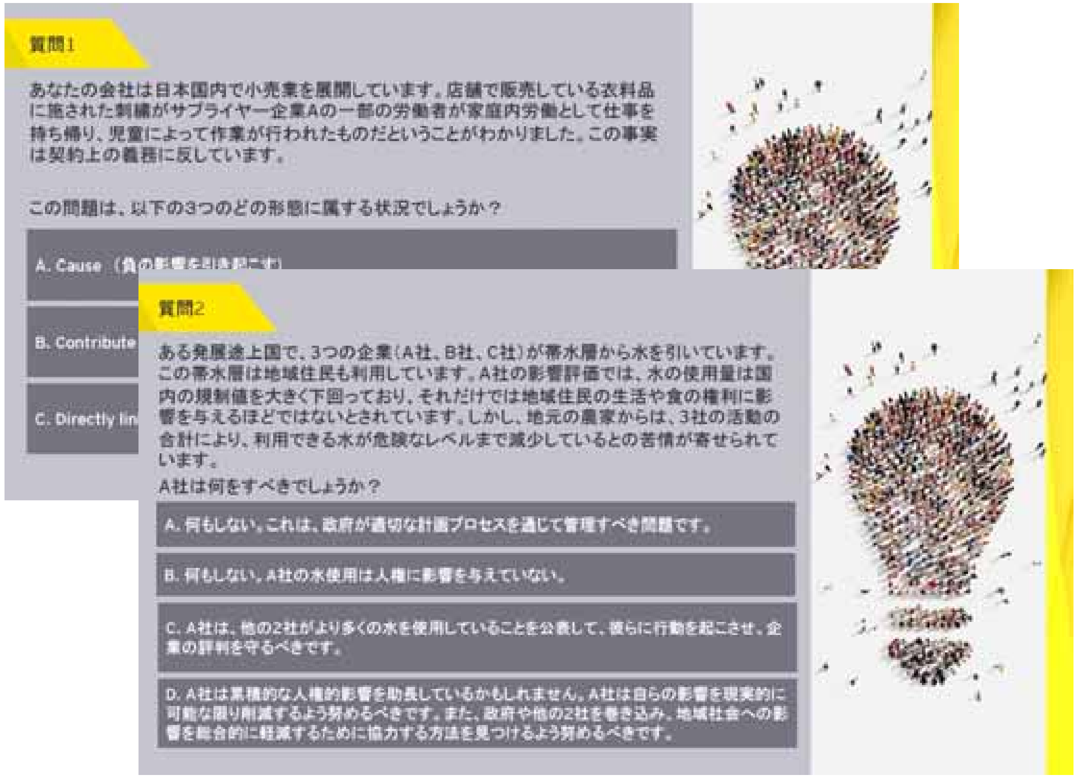


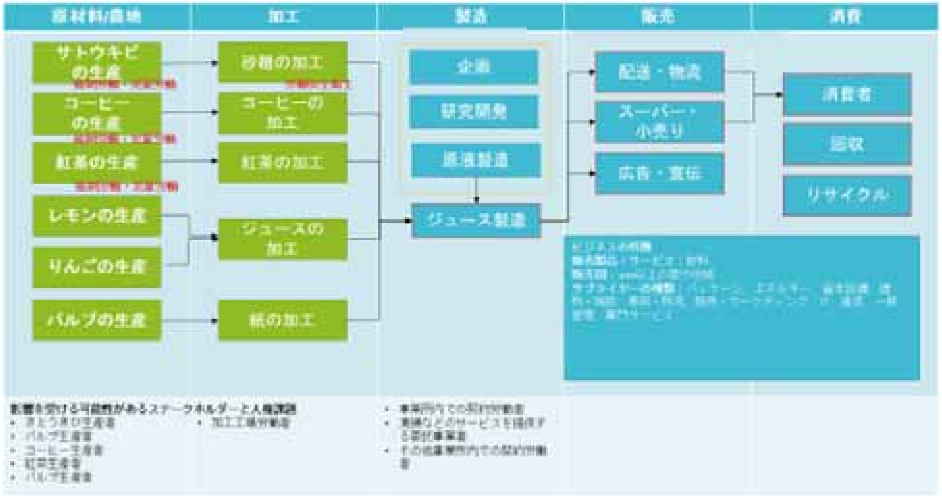
HRDD分科会活動　②HRDDワークショップ

活動内容：

人権デューディリジェンスの枠組みと内容を理解する。

特に人権影響評価について、モデルケースを用いた演習形式で学ぶ。

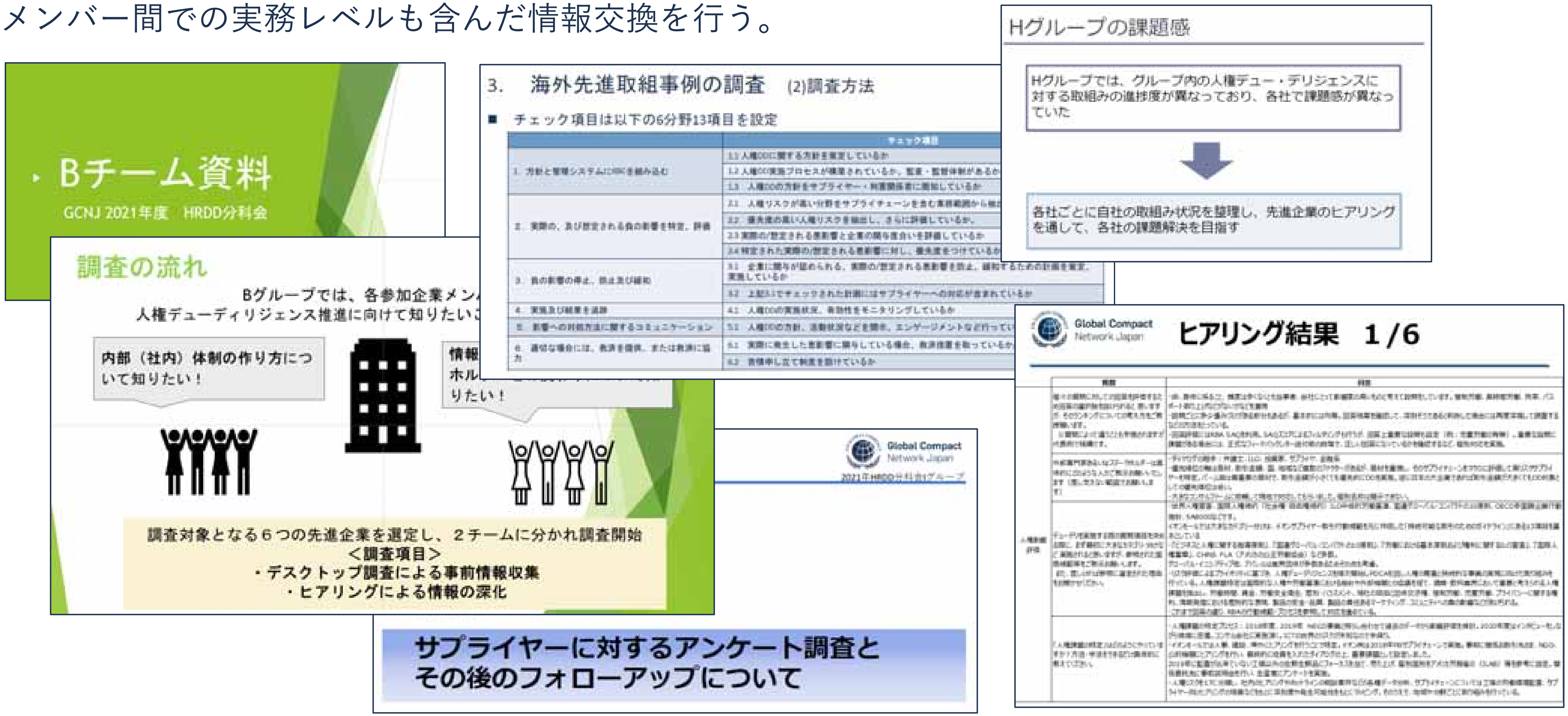




HRDD分科会活動　③グループワーク

活動内容：

先進的な取り組みを行う企業の事例を学んだり（興味あるテーマごとのグループ活動とする）
メンバー間での実務レベルも含んだ情報交換を行う。



Global Compact
Network Japan

http://www.ungcjn.org
Find us on social media
Facebook: @ungcnj   Twitter: @GlobalCompactJP